

カンボジアの今

西日本カンボジア友好協会 常任理事 曾根崎 淳

凄い勢いでプノンペンの街が変化しています。そして若い人々がエネルギーに活動しています。イオンモール・プノンペンが6月30日にフンセン首相、岸田外務大臣を迎え、グランドオープンしました。イオンの岡田社長は「このショッピングセンターには、これまで約204億円以上の投資をしてきた。また、2000人の雇用を創出しており、カンボジアやプノンペンの発展にさらに貢献していきたい。我々は、カンボジア国内の生産者そして取引業者みなさんを教育し高め合わなければならない。」と現地ビジネスにかける意気込みを述べられてました。おそらく、プノンペンは、イオンの開店により歴史が変わったというくらい衝撃なことであると思われます。今までに見たことも体験したこともないようなアミューズメント、まったく新しいコンセプトのお店に出会い、戸惑ったり憧れたり、イオンの出現は、今年のビッグニュースNo.1でしょう。ホットなカンボジアをまだ体験されていない会員の皆さんは、早目に訪問され直にカンボジアの熱気を感じられてはいかがでしょうか。



ここは日本か？錯覚に陥る。
1Fに手洗い洗車場、盛況でした。



トタンで囲まれた空地は従業員用バイク置場
2000人以上の雇用を生んでるそうです。



2Fにあるボーリング場です。
学校帰りの若者でごったがえしています。
近々、アイススケート場もオープン！



190店以上の専門店が入っています。
九州・福岡からも飲食店を中心にたくさん
の店が入居していました。



左の建設中の建物は 2015 年オープン予定の「東横イン」。1,223 平米の敷地面積に 22 階建て 304 室、イオンからも徒歩 5 分程度。

2013～2014 年は飲食業のほか、建設・不動産業、ビジネスホテル業の進出が相次いでおります。今後はおそらく縫製業、IT 分野の分業化、大規模農業、教育分野などが注目されると思います。

2013～2014 年、主な進出日系企業

不動産「タマホーム」「レオパレス 21」「スターツ」、**アパレル**「ワールド」、**飲食**「ワタミ」「秀ちゃんラーメン（博多）」「串匠（博多）」**金融**「豊田通商」、**物流**「郵船ロジスティクス」「佐川急便」「日通」、**エネルギー**「丸紅（石炭火力発電所）」**その他**「電動工具マキタ」「PIT&GO（トヨタグループ・車両の修理メンテナンス）」「ダイソー（1.9\$ショップ）」



カンボジアにもゴルフコースはあります。コースの手入れが非常に行き届いておりました。私が体験したのは、プノンペン中心部から車で 30 分程度に位置する「ガーデンシティ・ゴルフクラブ」です。2013 年 10 月にオープンし LYP グループが運営し、カンボジア最高を謳っています。館内施設にはゴルフショップ、シャワーロッカールームなどを完備してありました。隣接にはホテルが建設中でした。キャディ・電動カート付で 1 人約 130\$ でした。しかし利用者は非常に少なくいくら下手でも他の組みに迷惑かけることはありません。



最後に、カンボジアのマイナス点を記します。世界各国の汚職を監視している非政府組織トランスペアレンシー・インターナショナル（本部ベルリン）が 2013 年版「汚職指数」を発表しました。カンボジアの指数は 20 点（100 点満点）で、順位は 177 か国中 160 位でした（去年は 22 点、157 位）。

これからさらにカンボジアが発展していくためには、これらの汚職を減らし、日本でいう道徳教育を徹底して生まれた時から実施するべきだと思っ

ているところです。例えば、「日本の昔話」「絵本」などの読み聞かせなどからではないでしょうか。「子は、親（大人）の背中を見て育つ」ということを改めて、考えさせられます。しかし、こうも思います、「日本は大丈夫か？他人のふりみて我がふり直せ！」なぜかカンボジアを訪問するたびに我が国のことを考える今日この頃です。 以上